



August 11 2019
10:00 a.m. **open!!**

38年の歴史に幕 オホーツクをラストラン!

歴史の始まり

インターナショナルオホーツクサイクリングは、夏のオホーツクを代表する自転車イベントとして、昭和57年(1982年)7月に第1回大会が開催されました。

この大会は「雄大な自然に恵まれ、北国の味覚も豊富な魅力ある大地にサイクリストたちを招き、さらに、人々が健康で豊かな心を養い、強じんな体力をつくり、友情と連帯の輪を広げ、新しい北網圏の文化を創ることを期待する」という趣旨のもと、オホーツクサイクリング実行委員会の主催により、歴史の第一歩を踏み始めました。

当時は全国的にも珍しい200km(実際は203.6km)を超えるロングライドの大会で、第1回目は470人のサイクリストが出走、最年長は85歳の男性でした。

歴史の歩み

オホーツクサイクリングは雄武町をスタートし、ゴールの斜里町までを2日間で走る「フル」、網走市を出発点とする「日帰り」、この2つのコースで始まりました。その後は選択できるコースが増え、最終的には「フル(212km)

に加え、「満喫(133km)」「牧歌(80km)」「メルヘン(41km)」の4コースが設定され、サイクリング経験や、年齢・性別を問わず、家族で気軽に参加できる工夫が続けられてきました。

出走者は第2回開催時に1000人を超え、平成9年(1997年)の第16回大会では過去最多となる1603人を記録。平成16年(2004年)の第23回大会では、アメリカ、イギリス、韓国など海外からの参加者が過去最高の43人となりました。

38年の歴史では様々な出来事もありました。平成元年(1989年)の第8回大会では、大会日程の2日間とも気温が30度に達し、100人を超えるサイクリストがリタイア。平成12年(2000年)の第19回大会では、台風3号の直撃という事態に続行を断念。大会史上初、2日目の走行が網走市で打ち切りとなりました。

歴史に幕

ラストランとなった今大会。開会式では38回の大会を全出場した3人と、同じく全大会の運営に関わってきた指導員に感謝状が贈られました。

数多くのサイクリストと、コース沿線の住民に愛されながら38年間の長きにわたって開催されてきた、インターナショナルオホーツクサイクリング。近年におけるニーズの変化、趣味の多様化などによる参加者数の減少を受け、一定の役割を果たしたオホーツクサイクリングは、第38回大会をもって歴史の幕を下ろしました。

サイクリストとともに

第1回開催当時の雄武町は人口6千人あまり。多く

のサイクリストと大会関係者が町に集結し、廃線前の興浜南線は増結列車が用意されたほどです。あまりの人の多さに食堂やスーパは食材不足、旅館や飲食店はサイクリングで活気づきました。

それから38年、雄武町はオホーツクサイクリングのスタート地点として、サイクリストとともに同じ道を歩んできました。この大会は雄武町の大切な歴史として代々、受け継がれていくことでしょう。



ラストランに参加して

3回目の参加となる、雄武小学校6年生の栗山朔乙さん。「雨の中で坂を走るのが大変でした。2日目も雨で走れないかなと思っていましたが、ラストランなので最後まで走ってよかったです」と感想を語ってくれました。

(栗山朔乙さん～写真中央)

※表紙の写真は、共栄小学校6年生の門傳蒼人さん

待ち望んだ新図書館

「雄図ぴあ」がオープンします。

雄武町の図書館サービスは、昭和31年8月に役場庁舎内の渡り廊下に書棚を設置し、本の貸し出しを開始したのが始まりです。

その後、雄武町中央公民館および雄武町民センターの図書室を経て、旧雄武郵便局舎を改修した図書館を運営してきました。利用者の要望に応じるため、多種多様な資料の収集と情報提供に努め、町民の文化教養、実用、調査研究など生涯にわたる学習活動を積極的に支援し、町民の心豊かな生活と交流の実現を図りながら多くの皆さまに利用いただきました。

しかしながら、近年は蔵書数の増加などにより開架や閲覧のスペースが狭くなり、資料および情報のさらなる充実が困難になるなど、利用者からの様々な要望に応えられない状況が続いてきました。

こうした背景を踏まえて、平成23年10月に「図書館に関するアンケート調査」を実施、図書館に対する意見・要望などを取りまとめたうえで、24年5月に「雄武町図書館を考える会」を設置し、25年7月まで「これからの図書館のあり方」について検討を重ねてきたところです。

この結果、「将来の人口推移、町の財政状況ならびに既存の社会教育施設との有機的連携などに配慮したうえで、新たな図書館の建設を強く望む」といった内容の提言書が25年7月25日、町長に対し手渡されました。



オープン日時
8月11日(日) 10時
施設所在地
雄武町字雄武1031番地255
(末広町二区)

提言を受け、町は27年に現況測量、29年に実施設計を行い、30年4月に移転新築工事に着手。総事業費約7億円を投じ、本年7月に新図書館が完成しました。町民待望の新図書館は令和元年8月11日(日)にオープンします。初日には数量限定でオリジナルトートバッグをプレゼントします。多くの皆さまのご来館をお待ちしています。